

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2027

Rubric

★未来につながる人づくり
直接体験&体験からの学び
アウトドアフィールドの活用
継続性

★人づくりの独自性
考え方・哲学
キャラクター
実践方法

★社会性
コラボレーション
発信力
社会への貢献

★人づくりの技
ハードスキル
ソフトスキル
安全への考えと取組

<JOLA Rubric>				
評価項目		未来につながる人づくり		
		直接体験 & 体験からの学び	アウトドアフィールド の活用	継続性
評価尺度	5	自身の実践・考え・哲学が言語化され、それが未来へつながるものである。また、人づくりの成果である、対象者の成長・システム構築を言語化することができる。 自然での直接体験を大切に活動、人づくりを続けている。体験からの学びを、大切に、実践している。 自身の人づくりの場・スタッフに対して、強い影響力がある。周りに、体験からの学びを大切にする価値観が浸透している。	アウトドアフィールドが特性として持つ、変化かつ多様に富んだ要素を、人づくりの場に反映することができる。自然という変化に富んだものの、自身の付き合い方や捉え方・哲学が言語化され、人づくりに反映されている。それらに独自性がある。 環境への臨機応変な対応力人づくりの場で重要視し、多くの具体を創っている。	継続的にスタッフや仲間を育てている。その育成が、自らの組織の持続可能性や発展に大きくつながっている。組織や地域の価値観を大切にしながらも、自身の特性を活かし人づくりを続けている。 自らの組織に限らず地域の社会の持続可能性や後継者・協働者作りに関わっている。コミュニティの活性化に繋がっている。また、それらを継続的に行っている。
	4	自身の実践・考え・哲学が言語化され、それが未来へつながるものである。また、人づくりの成果である、対象者の成長・システムの構築を言語化することができる。 自然での直接体験を大切に活動・人づくりを続けている。体験からの学びを大切に、実践している。	アウトドアフィールドが特性として持つ、変化や多様に富んだ要素を、人づくりの場に反映することができる。自然という変化に富んだものの、自身の付き合い方や捉え方・哲学が言語化され、独自性がある。	継続的にスタッフや仲間を育てている。その育成が、自らの組織の持続可能性や発展に大きくつながっている。組織や地域の価値観を大切にしながらも、自身の特性を活かし人づくりを続けている。 自らの組織に限らず地域の社会の持続可能性や後継者・協働者作りに関わっている。
	3	本人の人づくりの実践・考え・哲学と、JOLAの大切に「未来につながる人づくり」の結びつきは弱い。しかしながら、自身の考え・哲学のもと実践を続けている。また、それらを言語化している。人づくりの成果である対象者の成長や・システム構築を言語化することができる。 自然での直接体験を大切に活動・人づくりを続けている。体験からの学びを大切に、実践している。	アウトドアフィールドが特性として持つ、変化や多様に富んだ要素を、人づくりの場に反映することができる。 自然という変化に富んだものの、自身の付き合い方や捉え方・哲学が言語化され、人づくりに反映されている。	継続的にスタッフや仲間を育てている。その育成が、自らの組織の持続可能性や発展に大きくつながっている。 組織や地域の価値観を大切にしながらも、自身の特性を活かし人づくりを続けている。
	2	本人の人づくりの実践が、JOLAの大切に「未来につながる人づくり」という点での結びつきが見られないが、自身の考え・哲学のもと実践を続けている。それらを言語化している。人づくりの成果である対象者の成長や・システム構築を言語化することができる。 自然での直接体験を大切に活動・人づくりを続けている。体験からの学びを大切に、実践している。	アウトドアフィールドが特性として持つ、変化や多様に富んだ要素を、人づくりの場に反映することができる。 活動を通して、自然という変化に富んだものの、自身の付き合い方や捉え方・哲学を推測することができる。	継続的にスタッフや仲間を育てている。その育成が、自らの組織の持続可能性や発展に大きくつながっている。組織や地域の価値観を大切にしながらも、自分の特性や考えを言語化している。自身の特性を活かし始めている。
	1	人づくりの実践と、JOLAの大切に「未来につながる人づくり」が結びつかないものの、自身の考え・哲学のもと実践を続けている。それらを言語化することができる。	アウトドアフィールドをどのように考え、どのような実践をしているのかについて記載がない。（読み取れない） アウトドアでの活動における、自身の考えを言語化することができる。	継続的にスタッフ（仲間）を育てている。その育成が、自らの組織の持続可能性や発展に大きくつながっている。

<JOLA Rubric>

評価項目		人づくりの独自性		
		考え方・哲学	キャラクター	実践方法
評価尺度	5	人づくりにおける考え方・哲学に多様かつ豊かな独自性がある。 （未来志向・伝統継承・新しい視点・地域ならではの） 持続可能性を大切にしたい人づくりが実践されている。JOLAの価値観との繋がりが強い。 表現（エントリーシート）に独自性がある。内容だけでなく、文章構造や文言も含む。	自分自身のキャラクターを客観視し、その特性を人づくりに活かすことができる。 「持続可能性や未来につながる人づくり」に繋がるキャラクターを持っている。自らをどのように育て続けているかを言語化することができる。 キャラクターが、多くの人や組織、地域に影響している。	教育実践・手法が、独自の発想で行われている。それらが、一定のカタチになっている。継続性もある。 効果について言語化できる。かつ、効果の詳細を言語化することができる。
	4	人づくりにおける考え方や哲学に多様かつ豊かな独自性がある。 （未来志向・伝統継承・新しい視点・地域ならではの） 持続可能性を大切にしたい人づくりが実践されている。JOLAの価値観との繋がりが強い。	自分自身のキャラクターを客観視し、その特性を人づくりに活かすことができる。 「持続可能性や未来につながる人づくり」に繋がるキャラクターを持っている。自らをどのように育て続けているかを言語化することができる。	教育実践・手法が、独自の発想で行われている。それらが、一定のカタチになっている。 効果について言語化できる。かつ、効果の詳細を言語化することができる。
	3	人づくりの考え方・哲学に多様かつ豊かな独自性がある。（未来志向・伝統継承・面白い・新しい視点・地域ならではの） JOLAの価値観（持続可能性や未来につながる人づくり）との繋がりがある。	自分自身のキャラクターを客観視し、その特性を人づくりに活かすことができる。 「持続可能性や未来につながる人づくり」に繋がるキャラクターを持つことが推測できる。	教育実践・手法の独自性は弱い が、人づくりに対して積極的であり、今後の将来性が読み取れる。 一般的な考えや、所属団体の教育方法を中心に記載しているものの、その中に自身の考えも表現している。
	2	人づくりの考え方・哲学を言語化している。JOLAの価値観（持続可能性や未来につながる人づくり）との繋がりがある。	個人のキャラクターの強さを感じることができない（読み取れない） 自身の特性を人づくりに活かすことができていない。	書かれている教育実践・手法が、一般的なものである。人づくりに対して、積極的に活動している。
	1	エントリーシートの文脈を推測することで、本人の考え方や哲学における、独自性を読み取ることができる。	エントリー文に自身がどんなキャラクターであるのかの記載がない。	自身の実践している教育実践・手法についての記載がない。

<JOLA Rubric>

評価項目		社会性		
		コラボレーション	発信力	社会への貢献
評価尺度	5	自身の地域社会やそのみならず他の地域、団体、業界等広く、独自のプログラムや考え方が、知られ、かつ利用（転用）されている。 他団体との積極的な協働が、互助を産み、人づくりにつながっている。コラボレーションの成果があり、それらが言語化（発信）することができる。	ICTやWEBを用い、広報活動を積極的に行っている。影響力も大きい。 書籍化や、寄稿、取材などメディアへの露出が多数あり、広く影響力をもっている。 発信力を活かし、継続的に、不特定多数の人が繋がる場を創っている。そのネットワークの広がりが多様である。	地域社会に対して、教育的、経済的・社会的・環境的など、様々な面で（2つ以上）貢献している。「貢献」について自身の意図や哲学をもっている。それが表現されている。また、様々な形で結果があらわれている。
	4	自身の地域社会、団体、業界等で独自のプログラムや考え方が、知られ、かつ利用（転用）されている。 他団体との協働を積極的に行い、それらが人づくりにつながっている。	ICTやWEBを用い、広報活動を積極的に行っている。 書籍化や、寄稿、取材などメディアへの露出が多数あり、広く影響力をもっている。 発信力を活かし、不特定多数の人が繋がる場を創っている。	地域社会に対して、教育的、経済的・社会的・環境的など、なんらかの形で貢献している。「貢献」について自身の意図や哲学をもっている。それが表現されている。多少なりとも結果が出ている。
	3	他の地域や団体、業界などでそのプログラムが認知されている。 「あの人といえば、～。」と知られており、定評がある。 異分野や異なる組織との協働に挑戦し始めている。人づくりの成果に期待がもてる。	ICTやWEBを用い広報活動を定期的に行っている。 書籍化や、寄稿、取材などメディアへの露出が多数あり、広く影響力をもっている。 自身や仲間の発信能力をもとに、自身のプロデュースを行うことができる。（成果や影響力の有無に関わらず）	地域や社会に対して、活動を通じて貢献しようと試みている。地域の未来や人づくりに繋がる活動であることが読み取れる。
	2	他の地域や団体、業界などでそのプログラムが認知されている。 「あの人といえば、～。」と知られており、定評がある。 異分野や異なる組織との協働についての展望がある。（行っていない）	ICTやWEBを用いた、広報を行っている。書籍化や、寄稿、取材などメディアへの露出がある。	エントリー文への直接の記載はないが、活動やその文脈を推測すると、地域や社会への貢献につながっていると読み取れる。
	1	他の地域や団体に、影響を与えるであろうものがエントリーシートからは読み取れないが、文脈から、推測することはできる。	広報活動、メディアへの露出などの記載がない。 ICT・WEBなどのツールを用いた広報活動は行っていない。	地域や社会への貢献について、エントリー文に記載がない。読み取ることができない。

<JOLA Rubric>

評価項目		人づくりの技		
		ハードスキル	ソフトスキル	安全への 考えと取り組み
評価尺度	5	キャンプ技術、登山技術、スキー技術、農林漁業技術、工作技術、調理技術、伝統工芸技術などの自身の熟練・熟達度が高い。 自身の人づくりの指導力が高い。自身に批判的思考を持ち続けている。	人の感情・行動・思考を的確に観察し（様々なフィルターでものが見られる）。働きかけ、育てる指導力・教育力がある。 相手の反応に合わせて対応している。対面コミュニケーション力、人に関わるスキル、センスが高い。	安全に配慮した体験の場が提供できている。安全に関する自身の考えを言語化することができる。 安全管理のシステムを持っている。かつ言語化されている。安全に対する実践や考え方と、JOLAの趣旨との親和性が高い。 安全に関する実践(考え方・哲学も含む)が、自身の中で熟成され、独自性、独創性が高い。
	4	キャンプ技術、登山技術、スキー技術、農林漁業技術、工作技術、調理技術、伝統工芸技術など。技術が秀でている。 自身の人づくりの指導力が高い。	人の感情・行動・思考に働きかけ、育てる指導力・教育力がある。様々な視点からの観察ができる。 相手の反応に合わせて対応するなど、対面コミュニケーション力が高い。	安全に配慮した体験の場が提供できている。安全に関する自身の考えを言語化することができる。 安全管理のシステムを持っている。かつ言語化されている。 安全に関する実践（考え方・哲学も含む）が言語化されている。さらにその実践を、自身の中で熟成させており、独自性が高い。
	3	キャンプ技術、登山技術、スキー技術、農林漁業技術、工作技術、調理技術、伝統工芸技術など、熟練度が中堅レベルである。	人の行動に働きかけ、育てる指導力・教育力がある。 相手の反応に合わせて対応するコミュニケーションを心がけている。	安全に配慮した体験の場を提供することができる。 安全の管理のシステムを持ち、実践が続いている。自身の持つ安全に関する考え方や哲学が言語化されている。その考えや哲学の独自性が見られる。
	2	キャンプ技術、登山技術、スキー技術、農林漁業技術、工作技術、調理技術、伝統工芸技術などの技術を持っていることは読み取れる。経験がある。	相手の状況に関係なく、自分ペースでの関わりが強いが、人を育てる指導力・教育力を持ちあわせている。	安全に配慮した体験の場が提供できている。安全をつくるための実践や自身の考えを言語化することができる。
	1	適切なスキル（技）を持ち活動している。 （高度な専門的な経験や技術が見えにくい）		安全に対する、自身の考え方や哲学が、エントリーシートに言語化されていない。